10月度衛生委員会議事録

日時：令和8年10月22日(木)　　13：30 ～ 14：00	場所：佐野市シルバー人材センター

〇協議事項

（1）インフルエンザ・コロナについて

・インフルエンザA型とB型の違いは、A型は鳥類などヒト以外にも感染するがB型はヒトのみに感染するという点。

・今年流行するインフルエンザの株は、A型株(H1N1)、A型株(H3N2)、B型株(ビクトリア系統)の３つ。

・ワクチンも上記３つをベースとして作られるため、「H」や「N」の組み合わせが変わったものでてくるだけで非常に危険な状態になる。

・インフルエンザ・コロナ・風邪の症状の違いは明確には断言できない。そのため症状がでたらすぐに検査を受けて特定することが大事。

・他の人からの感染を防ぐために自分がマスクをする行為はあまり効果がない。

・咳などの症状がでている人がマスクをすることが重要。

・マスクを外す際は布部分には触れずに耳掛けを触るようにする。

・マスクはノーズフィッター(隙間を塞ぐためのワイヤー)がついているものが好ましい。

・インフルエンザワクチンをうつなら今のうちに済ませること。完全に感染を防ぐことはできないが、症状を軽減する効果は期待できる。

・2歳から19歳までの年齢に限り、点鼻液のインフルエンザワクチンを接種可能。

・資料内に「無治療でも数日で症状が治まる」といった記載があるが、医療関係者の立場からみればこの書き方は不適切。抗ウイルス薬を使用して短い期間で治すことが流行を抑えることにつながる。

・インフルエンザ治療薬について

　・タミフル：最も使用実績がある内服薬。

　・イナビル：吸入薬なのでちゃんと接種できているかが不明瞭。内服薬の方が確実。

　・ゾフルーザ：B型に対して効果が高い内服薬。

　・ラピアクタ：点滴静脈注射。症状が重く、内服薬を飲み込めないような際に使用。

・コロナウイルスは年中いる。インフルエンザウイルスは高温多湿が嫌いなため通常であれば冬のみ。

・南半球に住んでいる外国人が持ち込んだりすると夏でも流行する可能性はある。

・医者から伝えられた出勤停止期間は必ず守るように。

（2）その他

・インフルエンザは現在下火。

・コロナは現在は下火だが年末あたりに増える兆しあり。

・次回以降の日程に関して

１１月１７日（火）１３時３０分～

テーマ：生活習慣病

１２月１７日（木）

１月１９日（火）

２月１６日（火）

３月１６日（火）